

合唱団ユマニテ

合唱団ユマニテのOB・OG8名は、初代客演指揮者（73年〜97年）の中島良史氏の率いる総勢24名のメンバーと共に、5月31日から6月10日までチェコ共和国の演奏旅行を行いました。これは、若手音楽家を発掘したヤング・ブラハ国際音楽祭の日本側代表を20年以上にわたり務め、チェコ共和国との縁が深い中島氏の案内により実現したものです。なお、同氏はこの間の功績に対しチェコ文化省から「チェコ芸術の友」賞を授与されています。

チェコでは、3カ所の教会で現



地のサポートメンバーと一緒にモーツアルトのミサ・プレヴィスやドヴォルジャークやカッチーニ、ヤナーチェクの各アヴェ・マリアなどを演奏し、現地の皆さんに温かく迎えられました。

演奏会の合間には、スメタナゆかりの国民劇場でオペラ「売られた花嫁」を鑑賞し、ブラハ城や南ボヘミアにある町全体が世界遺産に登録されているチェスキー・クルムロフ等を訪ねました。中世ヨーロッパの面影を残すチェコの美しい街並みは、教会での演奏とともに私たちの心に強く印象づけられました。

（村上記）

（参加） 鬼頭(49)、村上(55)、中村(58)、石渡・神山(達)・神山(い)・吉本・渡辺(60)